

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 藿香

新訂和漢薬 記載頁

111

基源 シソ科 カッコウ *Stachys betonica* Benth.(中国産) 及び カワミドリ *Agastache rugosa* O.Kuntz. (日本産) の草本.

部位 草本: 洗微焙乾 [用薬須知], 水漬洗乾剉細陰乾 [一本薬選].

作用 無毒. 去悪気 [新修本草], 開胃, 進食 [本草綱目, 一本薬選, 満洲漢薬], 温中 [本草綱目], 解肌 [一本薬選], 発汗, 除邪, 止吐 [満洲漢薬].

応用 風水毒腫 [新修本草, 証類本草, 本草綱目], 霍乱 [新修本草, 証類本草, 本草綱目, 満洲漢薬], 心腹痛 [新修本草, 証類本草, 本草綱目, 一本薬選, 満洲漢薬], 吐逆 [証類本草, 本草綱目] (= 嘔逆 [一本薬選], 嘔吐 [満洲漢薬], 吐瀉 [一本薬選, 満洲漢薬]), 口臭 [証類本草, 本草綱目], 肺虚 [本草綱目], 傷食 [一本薬選], 胃病 [満洲漢薬].

処方 養胃湯〔不思食〕, 藿香正気散〔食傷〕, 嘉禾散, 安胃湯〔反胃〕, 藿香安胃湯〔嘔吐〕, 不換金正気散, 回生散, 加減理中湯, 中正湯〔霍乱〕, 藿香養胃湯〔萎弱〕, 五香湯〔疔〕, 五香円〔口臭〕, 五香散〔小児初生〕.

備考 別名: 巴香 [蒙古薬方].